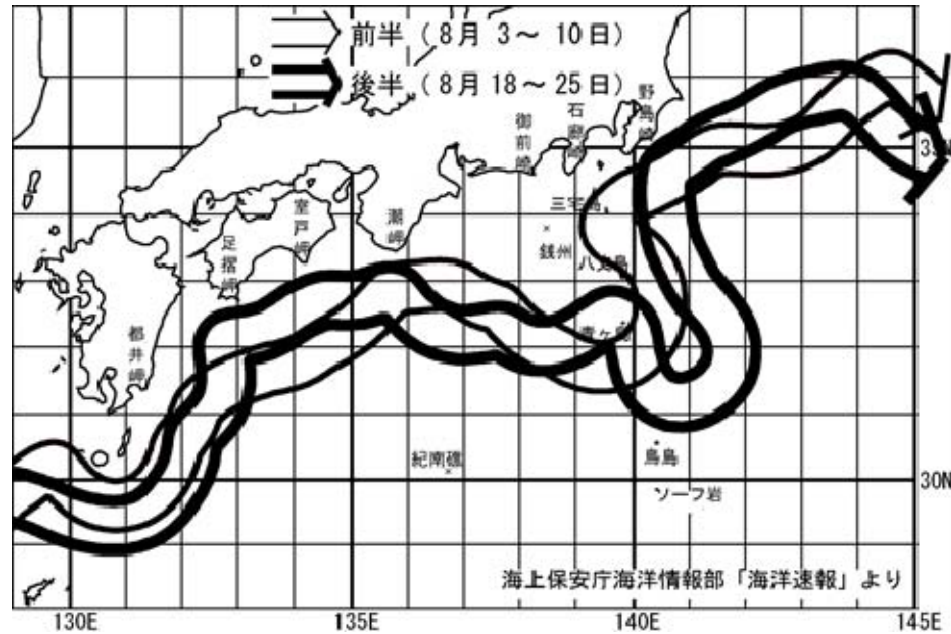


漁海況月報

平成27年 8月 1日

No. 8 ~ 8月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



8月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	26.1	24.6	24.7	27.8	27.4	27.5	—
	1.2	1.3	1.0	2.5	2.2	2.1	—
中旬	26.8	26.0	26.3	27.4	27.1	27.3	—
	1.5	1.9	2.1	1.7	1.4	1.7	—
下旬	25.5	25.4	26.0	26.8	26.1	26.0	—
	0.4	1.1	1.5	0.8	0.0	0.4	—
月	26.1	25.3	25.8	27.3	26.8	26.9	—
	1.0	1.4	1.6	1.6	1.1	1.4	—

(地頭方は水温計の不調により欠測)

【黒潮流路】

前半の黒潮は、遠州灘沖を南東に進み、伊豆諸島の西側で32° Nまで南下した後北上し、三宅島付近を通過して房総半島沖へ流れた。後半は遠州灘沖を小蛇行が東進し、小蛇行の北上部が一時的に33.5° N付近に達したが、その後は32.5N付近を東進するようになった。伊豆諸島付近では、八丈島の南を通過した後に141° E付近で31.5° N付近まで南下し、その後、房総半島に向けて北上した。

【県下沿岸域】

上旬は、相模湾側で「やや高め」、駿河湾では「高め」であった。中旬は相模湾側では「高め」、駿河湾では「やや高め」～「高め」であった。下旬は、相模湾側では「平年並」～「高め」、駿河湾では「平年並み」～「やや高め」であった。

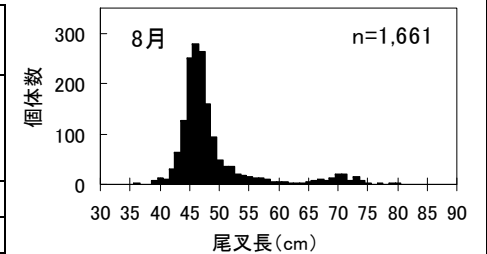
【竿釣カツオ】

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は117トンで前年同期の117%であった。

漁場は30～33° N、139～141° Eの黒瀬やハロースを中心とした伊豆諸島海域で、銘柄「小」(尾叉長46cmモード)を主体に漁獲した。魚価は368円/kgで前年同期を下回った。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
27年8月上旬	69	19	3.7	320
中旬	12	3	3.9	428
下旬	36	11	3.3	441
27年8月計	117	33	3.6	368
26年8月計	100	45	2.2	464
25年8月計	125	46	2.7	488



御前崎港における測定結果

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は231トンで前年の同漁場の水揚量(309トン)の0.75倍であった。また、1か統あたりの水揚量は33トンで前年(44トン)の0.75倍、平年(昭和57～平成26年の平均48.2トン)の0.68倍であった。

魚種別の水揚量は、さば類、マイワシ、ヤマトカマス、マルソウダ、シイラの順に多かった。7か統のうち、さば類は伊豆山漁場が26%、次いで富戸漁場が18%、古網および北川漁場が17%を占めた。マイワシは伊豆山漁場が42%、次いで北川漁場が23%を占めた。ヤマトカマスは古網漁場が38%、次いで北川漁場が37%を占めた。マルソウダは北川漁場が45%、次いで富戸漁場が28%を占めた。シイラは北川漁場が26%、次いで赤沢漁場が18%、富戸漁場が17%を占めた。

ブリは銘柄「わかし」が主体で、ブリ全水揚量の72%を占めた。さば類は銘柄「ゴマサバ」が主体で、さば類全水揚量の79%を占めた。

漁場別の水揚量では、伊豆山漁場が63トン(ゴマサバ、マイワシ、カタクチイワシなど)、北川漁場が49.4トン(ゴマサバ、マイワシ、マルソウダなど)、古網漁場が34.2トン(ゴマサバ、マイワシ、ヤマトカマスなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	101.5	0.8	0.7	伊豆山、富戸、古網、北川
マイワシ	50.2	0.6	1.5	伊豆山、北川
ヤマトカマス	13.1	1.1	0.9	古網、北川
マルソウダ	12.7	3.5	0.6	北川、富戸
シイラ	8.5	0.2	1.0	北川、赤沢、富戸

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはゴマサバが 85 トン（前年同月比 38%）水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 7.0 トン（前年同月比 32%）であった。1 kgあたり平均単価は 169 円で前月（87 円）、前年同月（91 円）を大幅に上回った。マサバの水揚げは無かった。

ゴマサバは 29cm にモードを持つ 2 歳魚主体であり、漁場は上旬が大室出し、中旬がひょうたん瀬、下旬は三宅に形成された。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
27年8月 上旬	-	23	2	4	-	5.9	-	131	大室出し
中旬	-	23	1	2	-	11.5	-	104	ひょうたん瀬
下旬	-	38	3	6	-	6.3	-	232	三宅
27年8月 計	-	85	6	12	-	7.0	-	169	大室出し、ひょうたん瀬、三宅
26年8月	-	223	5	10	-	22.3	-	91	銭洲
25年8月	-	93	5	9	-	31.0	-	59	銭洲 三本 三宅 中の瀬

* 水揚量は、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が 55 kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が 156 kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 122 kg と前年同期 237 kg の 51.5%、前年同期（過去 5 か年平均：390 kg）の 31.3% で前年同期及び前年同期を大きく下回った。また、総水揚量は 106.3 トンで前年同期（380.1 トン）の 28.0%、前年同期（735.4 トン）の 14.5% で前年同期及び前年同期を大きく下回った。平均単価は 893 円/kg で前年同期（856 円/kg）並であり、前年同期（654 円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	8.0	8	64	126	1,048
舞 阪	46.4	8	298	156	880
福 田	28.4	7	158	180	736
御前崎	7.2	6	58	124	1,510
吉 田	4.3	5	97	45	1,397
静 岡	11.9	9	198	60	653
平成 27 年 8 月計	106.3	43	873	122	893
平成 26 年 8 月計	380.1	75	1,605	237	856
平成 25 年 8 月計	318.0	80	1,771	180	426

* 各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

* 前年同期：過去 5 か年（平成 22～26 年）平均値

[まき網]

マイワシの水揚げは小川港で 4.5 トンと前年同期（24.6 トン）の 18.3%、沼津港は 12.8 トンで前年同期（60.0 トン）の 21.3% であった。一方、カタクチイワシの水揚げは小川港、沼津港ともに無かった。相模湾側の伊東港では 7.2 トンであった。

なお、伊豆東岸定置網 8 か統のマイワシは 59.2 トン（前年同期 109.8 トン）、カタクチイワシは 9.8 トン（前年同期 25.6 トン）の水揚げがあった。

* 前年同期：過去 5 か年（平成 22～26 年）平均値

[調査船駿河丸の動向]

8月 3日	～	8月 5日	地先定線観測調査	(3日間)
8月 6日	～	8月 7日	サクラエビ産卵調査 (IKMT)	(2日間)
8月 10日	～	8月 11日	ふぐ稚魚調査 (TBC ネット)	(2日間)
8月 17日	～	8月 31日	ドック	(15日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

